

1 題材名 木版ぺたぺた 巨大フレームをつくろう 〈A表現(2)ウ, B鑑賞(1)ア〉

2 目標

- (1) 彫刻刀を使う活動を楽しみながら、簡単な木版で表すことに取り組もうとする。
(造形への関心・意欲・態度)
- (2) 彫りながら表したい形を見付けたり、刷る色を考えたりすることができる。(発想や構想の能力)
- (3) 木片を彫りながら彫刻刀の特徴を捉え、それを基に工夫して表すことができる。(創造的な技能)
- (4) 形や色、表し方や材料による感じの違いなどを捉え、よさや面白さに気付いたり、感じ取ったりすることができる。(鑑賞の能力)

3 題材について

本題材では、木版を彫ったり刷ったりする活動を通して、彫刻刀の特徴を捉えながら表現することの楽しさを味わうことをねらいとしている。児童は、気に入った彫刻刀を使って彫り続けたり、気に入った彫刻刀を使うことに夢中になったりしながら形をつくりだしていく。初めての彫刻刀を楽しみ、いろいろと試しながら、自分の感覚や活動から形を見付けることができる。さらに、下絵を描かずに彫ることで、手を働かせながら思い付き、「サクサク」という耳から入る感触を楽しみながら、試行錯誤することができる。そしてそれを繰り返していくうちに、どんどん形が変わる楽しさや驚きも味わうことができる。また、グループごとに形や色の組合せを考えながら、大きな台紙の上に版を刷っていく。児童が、それぞれの思いを伝え合い友人同士の関わりを深めるなど、題材全体を通して言語活動を工夫することで、互いの発想を生かし協力してつくることの楽しさや達成感を味わえる題材である。

実態調査

(調査人数21人 平成23年7月19日調査)

質問事項	回答
今までにどんな版画をやったことがありますか。(複数回答)	紙版画 (21) スタンプ版画 (3) いも版 (3) 木版画 (0)
彫刻刀を使ったことはありますか。	ある (2) ない (19)
グループで製作するなどの、共同製作は好きですか。	とても好き (10) どちらかという好き (10) どちらかというときらい (1) きらい (0)
共同製作のどんなところが好きですか。	みんなで協力し合うところ (8) 話し合って、たくさんアイデアが出るところ (6) だんだん意見がまとまって、最後に作品が完成するところ (4) できないところを助けてもらえるところ (2)

本学級は図工の学習が好きな児童が多く、毎時間の活動をとても楽しみにしている。実態調査の結果から、児童はこれまでに、図工の学習で紙版画には取り組んだことがあるが、木版画は初めての経験となる。また、彫刻刀もほとんどの児童が扱ったことがないため、正しく安全に使えるよう丁寧に指導したい。児童は、1学期の「思いふくらめ、どこでもドアの向こうがわ」の学習で共同製作を経験した。その学習の中で、意見を出し合ってイメージを練り上げていくことや、分担したり協力したりしながらよりよい作品に仕上げていくことなど、共同製作のよさを味わう経験をする事ができた。しかし、共同製作になると、積極的に友人と関わったり、意見を出したりすることが苦手な児童もいる。そのような児童には、自分の中の思いを表現したり、友人の刷りからイメージを膨らませたりするなど、試行錯誤から自己決定につながる事ができるように支援したい。

本題材は、いろいろな彫刻刀を試しながら彫り進め、版木の形と色の組合せを楽しみながら台紙に刷ることができる題材である。彫刻刀のような刃物に、児童が日常で触れる機会が少なくなっているため、出合いで彫刻刀の使い方をしっかりと学び、刃物は安全に扱えば便利な物だということを体感できるようにしたい。そして、木片を彫る感触を楽しみながら、彫刻刀の種類によって彫れる形が違う面白さを全体で感じさせたい。また、版木の形と色の組合せを楽しみながら台紙に刷ることができるようにする。さらに、製作の途中で友人と見合い、組み合わせる面白さを感じたり、お互いの刷りのよさを認め合ったりしながら楽しく活動ができるようにしたい。しかし、児童一人一人の感じ方や見方は様々なので、共同製作をする際には、試行錯誤も多くなると考えられる。そこで、児童と一緒に活動する友人と見合いながら、それぞれのよさを認め合うことで、自己決定につながられるよう支援していきたい。また、鑑賞を通して完成した喜びや達成感を十分に味わせた後、できあがった作品を行事等で掲示し、多くの人に見てもらえる機会をもたせ、表す喜びを広げられるようにしたい。

4 指導計画及び評価計画（5時間取扱い）

時 段	学 習 活 動 (授業のしかけ)	観 点 別 評 価 規 準			
		造形への関心・ 意欲・態度	発想や構想の能 力	創造的な技能	鑑賞の能力
1 (45分)	彫刻刀の使い方を 知る。 (巨大フレームとし て仕上げることを伝 える。)	彫刻刀を使う活 動を楽しみなが ら、簡単な木版で 表すことに取り組 もうとしている。 (観察, 対話, 作 品)		木片を彫りなが ら彫刻刀の特徴を 捉えている。 (観察, 対話, 作 品)	
2 3 ひ ろ	彫刻刀の特徴を生 かしながら木片を彫 り、版木を様々な色 で刷ってみる。		彫りながら表し たい形を見つけた り、刷る色を考え たりしている。 (観察, 対話, 作 品)	木片を彫りなが ら彫刻刀の特徴を 捉え、それを基に 工夫して表してい る。 (観察, 対話, 作 品)	
④ 本 時 (60分)	グループごとに組 合せを考えながら、 巨大フレームに刷る。 (図工室にビニルシ ートを敷き、その上 に台紙を広げて作業 する。)			版木の形や色を 組み合わせて刷っ ている。 (観察, 対話, 作 品)	相互に見合いな がら、友人の刷り の面白さに気付い ている。 (観察, 対話)
5 (30分)	完成した作品全体 を見合い、自分たち の作品のよさや面白 さを感じ取る。				形や色、表し方 や材料による感じ の違いなどを捉 え、よさや面白さ を感じ取っている。 (発表, 学習カー ド)

5 〔共通事項〕の視点

自分の感覚や活動を通して、形や色、組合せなどの感じを捉える。

6 本時の学習

(1) 目 標

相互に見合いながら友人の刷りの面白さに気づき、版木の形や色を組み合わせる刷ることができる。

(2) 準備・資料

〈児童〉 版木, 学習カード, 筆記用具

〈教師〉 テーブル, 版画インク (黒・赤・青・黄・緑), ローラー, はけ, 筆, 練り板, 予備の木片, 新聞紙, ビニルシート, 巨大フレーム台紙

学習活動・内容	指導上の留意点・評価
<p>1 本時の学習課題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>彫った版木をぺたぺたおして、すてきな巨大フレームを完成させよう。</p> </div> <p>2 作業の進め方を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・四つのグループに分かれる。 ・グループごとの台紙の場所に刷る。 ・グループごとの机を使う。 ・必要なら彫り足すことができる。 ・移動する際は、回りに気を付ける。 <p>～主な学習形態～</p> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;"> </div> <p>3 グループごとに版木を台紙に刷って、巨大フレームを完成させる。</p> <p>4 本時の学習を振り返る。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 学習カードに記入する (2) 学習カードを見て発表する。 <p>5 次時の学習を知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>完成した巨大フレームをみんなで鑑賞しよう。</p> </div> <p>6 後片付けをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・前時までに彫った版木を組み合わせて台紙に刷って、巨大フレームを完成させることを確認する。 ・完成したフレームは、鑑賞の後掲示し、他の学年の児童にも見てもらう機会をもつことを伝え、意欲を高めさせる。 ・前時までに学習した版木の刷り方について確認する。 ・実際に台紙に置いてみたり、版木がどんな形に見えるか、自由に話し合ったりしながら台紙に刷っていくよう助言する。 ・台紙は、巨大フレームの全体の大きさを捉えるために置くが、台紙の外側だけでなく内側に入って班を押してもよいことを伝える。 ・グループで彫った版木は、自分が彫った物でなくても使ってよいこととし、友人の考えと組み合わせながら、自由に押してよいことを伝える。 ・一度刷った版木も、きれいに拭けば、また刷ることができることを伝える。 ・他のグループの活動や様子を参考にしながら、同じ版でも、色を変えて刷るとイメージが変わることや、ずらしたり重ねて刷ったりすると奥行きが出ることに気付くよう助言する。 ・彫り足りない版木がある場合には、別の作業用の机に移動して彫ってもよいことを伝える。 ・T 1 と T 2 はグループを二つずつ担当し、T 2 はA子のいるグループを担当する。 ◎相互に見合いながら、友人の刷りの面白さに気付いている。 (鑑賞の能力) (観察, 対話) ・なかなか刷る組合せの面白さに気付かず、戸惑っている児童には、グループで刷っている台紙を見て、どんな形や色が合うか考えるよう助言する。 ◎自分の考えだけでなく、友人のよいと思った意見をどんどん取り入れて、重ねたり組み合わせたりしながら、イメージを膨らませるよう助言する。 ・最初のイメージにとらわれず、途中で浮かんだ考えや出た意見を取り入れ、自由に刷っていくよう助言する。 ◎版木の形や色を組み合わせで刷っている。 (創造的な技能) (観察, 対話, 作品) ◎版木を押す場所や、形や色に自信がもてずに手が止まってしまう児童には、どのような作品にしたいのか思いを聞いたり、友人との意見交換を促したりして、自己決定できるよう助言する。 ・振り返りスペースに移動し、学習の振り返りをさせる。 ・本時の台紙にする活動の中で、形や色を組み合わせることのよさや面白さ、友人の刷りととの共通点や相違点などについて気付いたことを、学習カードにまとめさせる。 ・友人の発表を聞く際にも、友人は刷る活動の中で、形や色のどんなところに面白さを感じたのか、気付くことができるよう意識して聞かせる。 ・次時の学習内容を知り、目標をもって取り組むことができるよう意欲付けをする。 ・使った用具は、それぞれ元の場所にきちんと戻させる。 ・協力して後片付けができるよう、役割分担をさせる。